

3 令和3年度校内研究推進計画

1 研究主題

自己をみつめ、他者と共によりよく生きようとする児童の育成
～主体的に話し合い、互いに深め合う道徳教育を通して～

2 研究主題設定の理由

近年、児童を取り巻く状況は、グローバル化の進展、科学技術の発展などにより、様々に変化している。このような時代に生きていく児童に求められるのは、多様な価値観の存在を認識し、自ら感じ、考え、他者と対話し協働しながら、よりよく生きていこうとする力である。

本校では、平成30年度から令和2年度の3年間にわたって「自己をみつめ、他者と共によりよく生きようとする児童の育成 ～自ら考え、自他共に認め高め合う道徳教育を通して～」を研究主題として、自分づくり部、仲間づくり部、学びづくり部の3つの部を構成して取り組んできた。

自分づくり部では、児童の自己肯定感の向上や支持的風土のある学級・学校づくりを目指し、「心タイム」では同学年、異学年の児童間でのよさ見つけの活動や構成的グループエンカウンターに取り組んできた。仲間づくり部では、相手を思いやる心や命を大切に作る心の育成を目指して、仲間のよさを実感できる体験活動の充実や「体験ふりかえりカード」による振り返り活動、人権・平和教育の推進、道徳教育別葉の活用に取り組んできた。学びづくり部では、自己を見つめ、考える力を育てる道徳科の時間の充実を図って、対話活動を取り入れた授業の実践や振り返りの工夫を行ってきた。さらに、児童自身が自分の成長を実感できるように、道徳ノートを使った振り返りに取り組んできた。

以上のような取り組みを通して、児童が安心感をもつことにつながり、児童のアンケート結果から、自己肯定感の高まりが見られた。また、互いを認め合い、よりよい人間関係作りにも効果的だったと考える。道徳科の授業においては、対話活動を通して、考えを伝え合い、他者と考えを共有したり自分の考えを広げたりする姿が見られるようになった。しかし、伝え合うだけにとどまることもあり、他者の考えに興味をもって主体的に話し合ったり、考えを深め合ったりするには至っていない。児童が主体的に考え、話し合い、自信をもって自分の考えを表現できる授業を目指して、道徳科の授業の工夫・充実に取り組んでいく必要があると考える。また、発達段階に応じた目標をもたせて体験活動を行うことで、道徳的な実践意欲や態度を育てたい。

そこで、今年度は、これまでの研究を継承し、効果的な対話活動の在り方を中心に道徳科の授業の工夫・充実を図り、学校教育活動全体を通じて計画的・発展的な道徳教育を行うことにより、研究主題に迫りたいと考えている。

3 道徳教育の重点目標

- 目標を立てて最後までやりぬくことができる。【希望と勇気、努力と強い意志】
- 感謝と思いやりの心で接することができる。【親切、思いやり】
- 自他の生命を尊重することができる。【生命の尊さ】

4 研究の目標

自己をみつめ、他者と共によりよく生きようとする児童を育てるために、主体的に考え他者と関わったり、対話したりすることで、互いの良さを認め合い、考えを深め合う道徳教育の実践について研究する。

5 研究で目指す児童の姿

低学年

- 自分のやるべき勉強や当番の仕事をしっかり行う子供。
- 身近にいる人やものに温かい心で接し、親切にする子供。
- 生きることのすばらしさを知り、身のまわりの生命を大切にする子供。
- わがままをせず、自分がすべきことは自分でする子供。

中学年

- 自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜く子供。
- 相手のことを思いやり、進んで親切にする子供。
- 生命の尊さを知り、生命あるものを大切にする子供。
- 自分の良さを知り、それを生かし、伸ばそうとする子供。

高学年

- より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力をして物事をやり抜く子供。
- 誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にする子供。
- 生命がかげがえのないものであることを理解し、生命を尊重する子供。
- 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努める子供。

6 研究の内容と方法

(1) 自分づくり部 (心のサポート活動)

- 安心して生活できる「学級づくり」や自己肯定感を高める日常活動の充実
 - ・心タイムの計画、実施 (ありがとう・よさ見つけカード・スターシール・対話活動・エンカウンター)
 - ・QU、心アンケート、道徳アンケートなどによる実態把握
 - ・「いじめ防止プログラム」の活用と修正
 - ・心を育む環境づくり (掲示の工夫)
 - ・自慢大会の計画

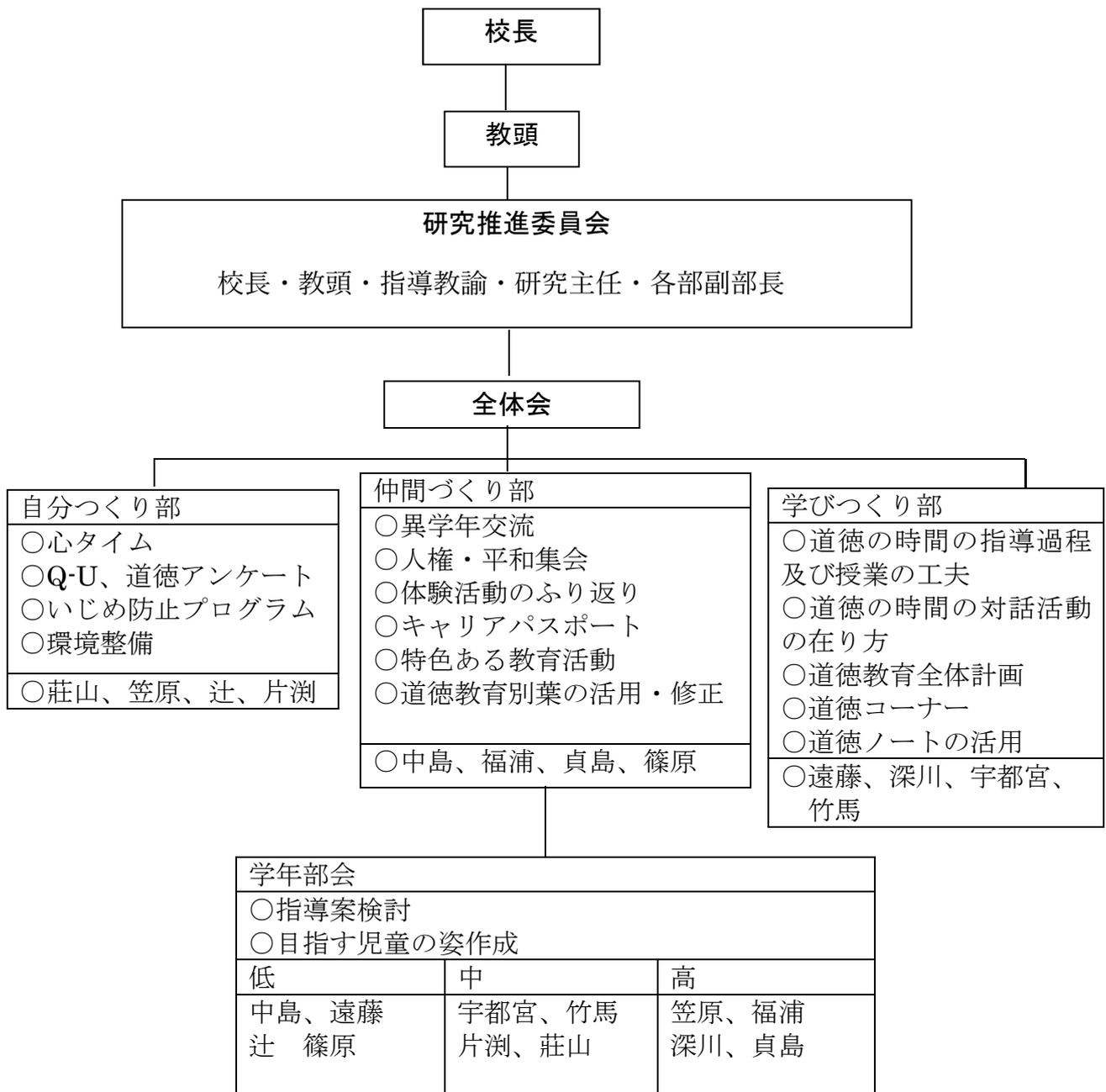
(2) 仲間づくり部 (豊かな体験活動)

- 道徳性を育む豊かな体験活動の充実
 - ・たてわりによる異学年交流活動 (たてわり班対抗遊び)
 - ・人権・平和集会
 - ・児童集会
 - ・体験活動のふり返りの工夫・キャリアサポート
 - ・特色ある教育活動 (次郎週間など)
 - ・道徳教育別葉の活用と修正

(3) 学びづくり部 (授業づくり)

- 自己を見つめ考える力を育てる道徳の時間の充実
 - ・道徳の時間の指導過程及び授業の工夫
 - ・道徳の時間の対話活動の在り方
 - ・道徳教育全体計画、学年年間計画 (教科等との関連指導)
 - ・道徳コーナー (教室)
 - ・道徳ノートと自己の振り返りの工夫 (評価への効果的な活用)
 - ・授業規律の確立・「話す」「聞く」「姿勢」の定着 (聞き取りテスト)

7 研究の組織



8 研究の計画

令和3年度 校内研究会日程表		
月 日 (曜)	会 議 名	内 容 (概要)
4 月 7 日 (水)	第1回研究推進委員会	校内研究の概要と内容及び組織作りについて
4 月 14 日 (水)	第1回校内研究会	全体会：校内研究の方法と内容及び組織についての提案 部会：研究の内容及び方法についての話し合い 学年部会：めざす児童像について検討
6 月 2 日 (水)	第2回校内研究会	全体会：各部からの取り組み提案
6 月 末 日 (水)	第3回校内研究会	第1回授業研究会 (全体研) 年 組 指導助言：
7 月 14 日 (水)	第4回校内研究会	全体会：夏休みの研修について
8 月 日 ()	第5回校内研究会	講話 学年部会：指導案検討
9 月 8 日 (水)	第6回校内研究会	学年部会：指導案検討
9 月 日 ()	第7回校内研究会	第2回授業研究会 (グループ研) 年 組 指導助言：
10 月 日 ()	第8回校内研究会	第3回授業研究会 (全体研) 年 組 指導助言：
10 月 日 ()	第9回校内研究会	第4回授業研究会 (グループ研) 年 組 指導助言：
11 月 日 ()	第10回校内研究会	第5回授業研究会 (全体研) 年 組 指導助言：
11 月 日 ()	第11回校内研究会	第6回授業研究会 (グループ研) 年 組 指導助言：
12 月 15 日 (水)	第12回研究会	全体会：2学期の反省、研究紀要について 部会：2学期の反省、研究のまとめ
2 月 9 日 (水)	第13回校内研究会	研究の成果と課題について
3 月 2 日 (水)	第14回校内研究会	来年度の研究について